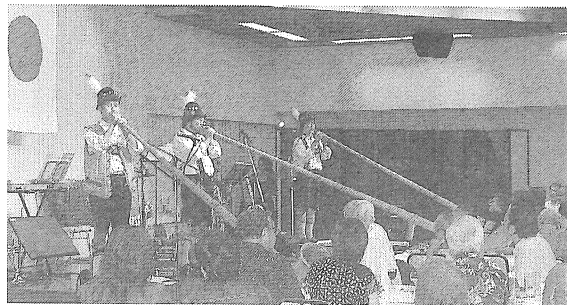


ドイツフェアをエンジョイ

(一般参加) 有原 治



エーデルワイスカペレのアルペンホルン演奏

今年も湘南日独協会主催の「ドイツフェア」に参加させていただきました。今、川本様に送っていただいた当日の写真を見ながら、たのしかったひとときを思い出しているところです。実は今年も円卓を囲んでの“新しい良い出会い”を期待していたのですが、会場に入って長い縦並びのテーブルを見て少し驚きました。しかし、宴も進み、隣の人と手を取り合って、軽快でユニークなダンスをしたり、一緒に歌を歌ったりしていると、このレイアウトの良さが段々わかってきました。また、楽団「エーデルワイス カペレ」の今年の出し物“アルプホルンの三重奏”の奥深い音色には聞きほれました。スイスの涼しさが伝わってくるようでした。しかし、どうやって色々な音を出しているのか今でも不思議に思っています。(笑い) また、あの長いホーンをどうやって運ぶのかもいまだに分かりません(笑い)。お料理も美味しく戴きました。特にドイツオリジナルのウィンナーとジャーマンポテトはもっと欲しかったですね。

最後に提案ですが、ビッフェは2～3ヶ所に分けて置いてあれば混雑なく、もっと食を満たしてくれるのではないのでしょうか……。

来年のドイツフェアでまた新しい出会いを期待して今から待ち遠しいです。

有り難うございました。

皆さん ドイツへいきませんか!

今年 二月末 Weimar より市長を団長として138名の大勢の老若男女が来湘し湘南日独協会の方々と歓迎交流会がもたれました。また 先年には宇都宮に90有余名を迎えて日独-独日の両協会の連合総会が開かれました。そして来年5月にはドイツ東南端ドノウ他2河の合流する美しい宗教都市 Passau にてこの連合総会が開かれる由。

この様に年々J・DG, D・JGの交流は盛んになっております。各地のJ・DGからも参加すると思いますが我が湘南からも この機会に集って交流に参りませんか。そして修復なったDresdenのFrauen教会の雄姿、ガラス張りの近代的な工場Autostadtをみて我々のパートナーの町 Weimarへ。

私事になりますが昔、仕事でかいま訪ねた Weimar, Dresden, Passau は私にとって誠に懐かしい町です。折りしも宮下先生の「ドイツ語圏の文化にふれる…」の講座が開講されております。皆で日頃の日・日協会(?)ぶりを発揮してドイツへ行って楽しもうでは有りませんか。

会員 三谷喜朗

湘南日独協会 2006-7 年度活動予定

■望年会のご案内 どうぞご予定ください。

12月9日(土) 18:00～

会場 翻車魚(まんぼう)丸 藤沢駅より徒歩5分

会費 5,000円。(飲み放題)

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 8. NO. 6. 通巻48. 発行 2006. 11. 25.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 48.

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

第48回例会 講演会

演題 「タミーノの日本の狩衣」

■ 11月25日(土)13:30～16:30

…モーツァルトは日本について何を知っていたのか
モーツァルト生誕250年にちなむ耳寄りなお話を伺うことになりました。

講師 ヨーゼフ・クライナー氏

(ボン大学教授・日本研究家)



会場 湘南アカデミアサロン

会費 会員 2,000円 一般 2,500円

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

新入会員紹介 (12月1日現在・敬称略・順不同)

勝亦正安 奥村義道 奥村たまき 宮原シズ 高野 裕

峯松景子 赤池達正 赤池孝子 樋口由美子

ノルウェーで出会ったドイツ

会員 伊藤志津子

3年前、ノルウェーのフィヨルド沿いに走る船に1週間乗ったときのこと、船内アナウンスがノルウェー語に続いてドイツ語だったので驚いた。英語よりもドイツ語のほうが少しは解るのでうれしかったが、アナウンスはまず英語と思い込んでいたので意外だった。よく見るとドイツ人らしきツアー客が行き来していて、船上ではドイツ語があちこちから聞こえてきた。

外国で緊張感を感じる一番の理由は私の場合「言葉」である。日本語だけで心地よく暮らすことのできる日本から、ひとたび外に出てしまうと外国語を使わなければならない。思いがけずなじみのある言葉に出会えて、緊張が少しほぐれた。

つい最近の旅はオスロだった。街をゆっくり歩き回る時間があつた。読めないのは承知でノルウェー語の案内などを丁寧に目で追って見てみると、ドイツ語に似ていることに気づいた。発音は難しそうだが、なんとなく意味が解り、なんとなく楽しかった。

オスロの入江に面して探検家ナンセンの「フラム号博物館」があり、同じく探検家アムンゼンの「ユア号」も昔のまま置かれていた。100年ほど前の北極探検の資料が船と共に展示されていて見ていて飽きなかった。アムンゼンの航海記を読むと極地探検に持参した保存食リストというのがあったのだが、ドイツの代表的なスープ「リンゼンズuppe」の缶詰がのっているのも興味深い。

ノルウェーではドイツ語が義務付けられていて10歳くらいから習い始めるとのことだ。そう教えてくれた若い男性は、何年習っても上手くならないと笑った。私の英語と同じようなものだ。

旅は楽しい、またどこかへ出かけよう。

【お知らせ】劇団「俳小」どき回りのハムレット

1月21日(日)15時開演 湘南台市民シアター ¥3000

モーツァルト生誕250年記念



モーツァルトのオペラアリアを熱唱(9月30日)

湘南日独協会 第47回例会

「モーツァルトの夕べ」 によせて

会員 宮原シズ

初秋の一夜「モーツァルトの夕べ」に行きました。ピアノを演奏する方ご自身での曲の紹介や、ユーモアのあるバリトン歌手の方の司会と歌で、和やかな雰囲気の中、楽しいひとときを過ごしました。私自身音楽は好きですが、深いことは何も知らず、専ら聴くだけの私ですが、どこかで聴いたことがある曲もあり、全く初めて聴く曲もありました。曲の解説はありましたが歌詞の殆ど分からなかったことがショックでした。ドイツ語はドイツの大好きな先生に学生時代に少し教えて頂きました。その後少しずつドイツという国に興味を持つようになりました。最近、湘南日独協会に入れていただき、しばらく遠ざかっていたドイツ文学やドイツの音楽に又出会えてとても嬉しく思っています。

今年も「アムゼル」出演！ オクトーバーフェスト in 横浜

会員 大久保 明

今や、横浜の風物詩となったオクトーバーフェストに昨年に続いて招かれ、今年も10月4日演奏しました。午後5時のアムゼル単独の演奏では、An Chloe, Wenn ich ein Voeglein waer, Der letzte Abend, Lerchengesang, 浜辺の歌を歌い熱烈的アンコールに応じて野バラ、ローレライ(勿論原語で)を歌いました。一緒に歌う方が多く会場は盛り上がりしました。

午後六時半からの演奏はドイツ・バイエルンのArgetから来た本場のカベレと共演しました。Ein Prosit から始まり、In Muenchen steht ein Hofbraeuhaus そしてTrink, trink, Bruederlein trinkを歌い会場はさらに盛り上がり我々アムゼルのメンバーも楽しむことが出来ました。演奏後はカベレの人達や来場していたドイツ人、水谷さん宅にホームステイ中のカロリンさんも加わり楽しい一時を過ごすことが出来ました。主催者側からは来年の出演さらに演奏時間の延長などの希望が寄せられています。これからも練習を重ねレパートリーの拡充に頑張りたいと思っています。

なお、会場に来ておられた方でアムゼル入団希望の方が昨年に続いて今年もありました。関心をお持ちの方はどうぞ一度見学に来て下さい。お待ちしております。(練習日：水曜日 13:30～15:30の月2回 場所は藤沢カトリック教会)

当日は織田会長、吉田事務局長、湘南日独協会のメンバー、ご家族ご友人等多くの方が会場にお見えになり我々を励まして下さいましたことをここで御礼申し上げます。どうぞ皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。